

事務事業名	農村地域防災減災事業負担金(木次・飯石中央地区)	所属部	農林振興部	所属課	農林土木課	
総 計 画 体 系	政策名	(V)挑戦し活力を産みだすまち<<産業>>	所属G	農林道G	課長名	細木浩之
	施策名	(36)農業の振興	担当者名	今岡 久	電話番号	0854-40-1053
	目的 対 象	市内の農家	意 図	安全・安心な農畜産物を生産するとともに、農 業所得が向上する。	(内線)	2401
	基本事業名	(107)農業基盤の整備	予算科目	会計 款 大事業 大 0 1 3 0 0 2 業 項 目 中事業 中 0 5 5 5 3 6 業 金	土地改良事業	農村地域防災減災事業負担 金

1 現状把握【DO】

(1)事業概要

① 事業期間
<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input type="checkbox"/> 単年度繰返 (年度～)
<input checked="" type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (H27 年度～ R元 年度)
② 事業内容 (期間限定複数年度事業は全体像を記述)
事業主体は島根県
①木次地区(橋梁点検診断、設計、耐震補強 工事) 負担率8%
②飯石中央地区(橋梁点検診断、設計、耐震 補強工事) 負担率8%

(2)事務事業の手段・指標

手段	① 主な活動	30年度実績(30年度に行った主な活動) 事業費調整(負担金支出)、地元調整	元年度計画(元年度に計画する主な活動) 事業費調整(負担金支出)、地元調整			
	② 活動指標	単位	28年度 (実績)	29年度 (実績)	30年度 (実績)	元年度 (計画)
	ア 事業費(負担金)	千円	24,088	33,200	6,480	800
	イ					
	ウ					
	エ					

(3)事務事業の目的・指標

目的	① 対象(誰、何を対象にしているのか)	③ 対象指標	単位	28年度 (実績)	29年度 (実績)	30年度 (実績)	元年度 (計画)
	農業従事者	ア 受益面積	ha	1,583	1,583	1,583	1,583
		イ					
		ウ					
	② 意図(対象がどのような状態になるのか)	④ 成果指標	単位	28年度 (実績)	29年度 (実績)	30年度 (実績)	元年度 (計画)
	農道の安心安全な通行や維持管理を図る ため、農道施設点検及び機能診断を実施 する。	ア 橋梁点検	橋	0.0	0	0	0
		イ 橋梁設計	橋	0	4	0	0
		ウ 橋梁耐震化	橋	2	4	4	1

(4)事務事業のコスト

① 事業費の内訳 (30年度決算)	② コストの推移	単位	28年度(決算)	29年度(決算)	30年度(決算)	元年度(計画)
・木次地区 事業費:50,000千円 市負担:4,000千円(負担率8%)	財 源 内 訳	国庫支出金	千円			
・飯石中央地区 事業費:31,000千円 市負担:2,480千円(負担率8%)		県支出金	千円			
		地方債	千円	23,900	33,200	6,200
		その他	千円			
		一般財源	千円	188		280
合計6,480千円		事業費計(A)	千円	24,088	33,200	6,480
	人 件 費	正規職員従事人数	人	2	2	2
		延べ業務時間	時間	80	50	50
		人件費計(B)	千円	317	204	217
		トータルコスト(A)+(B)	千円	24,405	33,404	6,697

(5)事務事業の環境変化、住民意見等

① 環境変化 (この事務事業を取り巻く状況(対 象者や根拠法令等)はどう変化しているか? 開始 時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?)	② 改革改善の経緯 (この事務事業に関してこれまでどのような改革 改善をしているか?)	③ 関係者からの意見・要望 (この事務事業に対して 市民、議会、事業対象者、利害関係者等からどんな意見や 要望が寄せられているか?)
防災減災事業のため予算状況が良く、計画 通りの事業進捗となっている。	特になし。	地元からは早期の完成を望む声が多い。

事務事業名	農村地域防災減災事業負担金(木次・飯石中央地区)	所属部	農林振興部	所属課	農林土木課
-------	--------------------------	-----	-------	-----	-------

2 事後評価【SEE】

A 目的 妥当性	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？ 意図することが結びついているか？		見直し余地があると理由
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている * 余地がある場合 →	
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければならないのか？ 税金を投入して達成する目的か？		
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である * 余地がある場合 →	
	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加する必要はないか？ 意図を限定・拡充する必要はないか？		
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である * 余地がある場合 →	
B 有効性	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？ 成果を向上させるため現在より良いやり方ははないか？ 何が原因で成果向上が期待できないのか？		
	<input type="checkbox"/> 向上余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない	理由 農道の安全性や災害対策を図り、恒常的な維持管理を目的とするため。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 この事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？		
	<input type="checkbox"/> 影響無	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有	理由 災害による施設の崩壊や交通事故は人命にかかわるため必要不可欠な事業である。また、補助事業でなければ単独費となる。
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的達成には、この事務事業以外の手段(類似事業)はないか？ ある場合、その類似事業との統廃合・連携ができるか？		
	<input type="checkbox"/> 他に手段がある * ある場合 →	(具体的な手段や類似事業名)	
	<input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる	<input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない	理由 県営事業であり、他の類似事業はない。
	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない		
C 効率性	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)		
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	理由 耐震補強については、下部工、上部工ともにあらゆる工法を比較検討し、基準に適した工法で設計している。
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 成果を下げずにやり方の工夫で延べ業務時間を削減できないか？ 正職員以外や外部委託ができないか？		
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	理由 県営事業のため、もともと業務時間は少ないので削減余地は無い。
D 公平性	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？ 受益者負担が公平・公正か？		
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である	理由 農道の現地調査を行った上で、県営事業により実施されているため、公平である。
評価 の 総 括	① 1次評価者としての評価結果		② 1次評価結果の総括(根拠と理由)
	A 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	農道の安全性の向上または災害防止のため、継続的事业の実施が必要とされている。県営事業でもあり、農道整備が完了するまで継続的に整備要望が必要である。
	B 有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	
	C 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	
	D 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	

3 今後の方向性【PLAN】

① 1次評価者としての事務事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可	② 改革・改善による期待成果																			
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	<table border="1"> <tr> <td></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td>●</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>		コスト				削減	維持	増加	成果	向上			維持	●	×	低下		×	×
	コスト																			
	削減	維持	増加																	
成果	向上																			
	維持	●	×																	
低下		×	×																	
県と連携し、引き続き円滑な事業推進に努める。	<p>廃止・休止の場合は記入不要。 コストが増加(新たに費やし)で成果が向上しない、もしくはコスト維持で成果低下では改革・改善とはならない。</p>																			